

みんなで作る避難所プロジェクト事業 991万円

避難所生活がイメージできずに避難行動を躊躇する事例があることから、子育て世代の参画を得て、「みんな」が過ごしやすい避難所づくりをめざし、避難所グッズや避難所体験ゲームの開発、防災レシピ教室などを実施します。

避難につながる「みんな」が過ごしやすい避難所へ！

初めての避難所生活で不安だなあ…

子どもの居場所がないなあ…

誰が運営するの？

偏った食事だなあ…

- 生活環境の向上
- 避難所体験ゲーム
- 防災レシピ など

ゲーム体験してるから安心！

子どもも安心して避難できる！

みんなで運営しよう！

避難所でもおいしい食事が食べられる！

期待される効果

子どもを含む子育て世代の避難所に対する理解が深まるとともに、「みんな」が避難所運営に参画することで、生活環境が向上した避難所の設置が進むとともに、適切な避難促進が図られます。

取組内容

●企業等とコラボした避難用資機材の普及

企業等とコラボして、避難所の生活環境が向上を図る防災資機材の普及を図ります。

●子ども向け避難所体験ゲームの開発

避難所への理解を促進するため、小学生から中学生等を対象とした避難所体験ゲームをみえ防災・減災センターと開発し、子どもや子育て世代が避難所の運営への主体的な参加を促進します。

●子ども向けDVD教材の作成

子ども目線で、三重県の災害リスクや先進事例を取り入れたDVDを作成し、ホームページでも公開します。

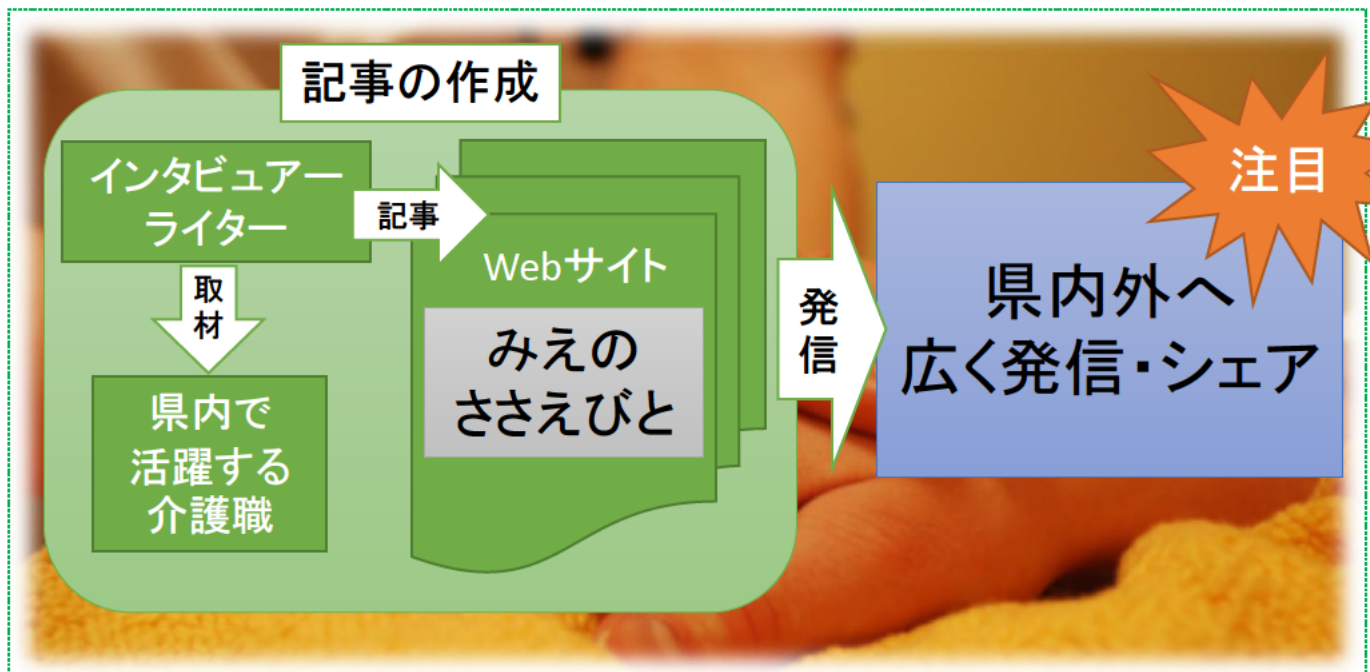
●防災レシピ教室・レシピコンテストの開催

女性が主体となって参加できる「料理（炊き出し）」をキーとして、三重県の豊富な食材などを活用した防災レシピコンテストを開催するとともに、避難所運営訓練に合わせ講演会や防災レシピ教室を開催します。

みえのささえびと事業

429万円

介護の仕事の魅力を広く発信するため、介護のプロとして県内で活躍する魅力的な介護職の方に取材・インタビューを行い、「みえのささえびと」としてウェブサイト上に記事を掲載します。



期待される効果

県内で活躍する介護職の魅力をリアルに表現した記事を発信し、介護の仕事の奥深さを伝えることで、若者の介護職に対する見方を変化させます。

取組内容

●介護のプロとして県内で活躍する魅力的な介護職の方に取材・インタビューを行い、「みえのささえびと」としてウェブサイト上に記事を掲載するとともに、県内外へ広く発信・シェアします。

●記事は、男女ともに年代別などで10人程度のささえびとを紹介するとともに、記事化のためのインタビュー・ライターが魅力を最大限に引き出し、読み物としてのクオリティを高めることで、話題性のあるものに仕上げます。



～命を守る、命をつなぐ～ 三重県ペット防災事業

522万円

ペットの飼い主は、災害時の事前準備が非常に重要であることから、災害時に、飼い主とペットの命を守り、命をつなぐことができるよう、親しみやすいアニメーション動画を作成するとともに、市町や動物病院等と協力・連携して、効果的に周知を図ります。

これらが実践できるよう、ペット参加型避難訓練等のイベントを実施します。

飼い主とペットの命を守る、つなぐためのアニメーション動画

●飼い主とペットの命を守る、つなぐためのアニメーション動画の作成

- ・日頃からの災害への備え
- ・ペットのための防災用品の準備
- ・避難先での注意点

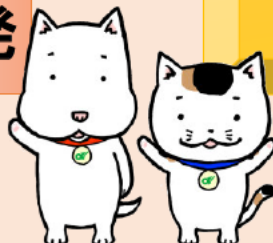


●ペット参加型避難訓練等のイベントの実施

効果的な啓発

飼い主の
安全・安心

飼い主と
ペットの命を
守る、つなぐ



期待される効果

- ペットの飼い主が、ペットがいても安全・安心して避難することができます。
- 飼い主とペットの命が守られます。

取組内容

災害時に、飼い主とペットの命を守り、命をつなぐことができるよう、アニメーション動画を作成するとともに、市町や動物病院と協力・連携し、受付窓口等で放映してもらうなど、以下の内容について効果的に啓発します。

- 日頃からの災害への備え。
- ペットのための防災用品リストの作成(防災準備カレンダー等の作成)。
- 避難先での注意点。

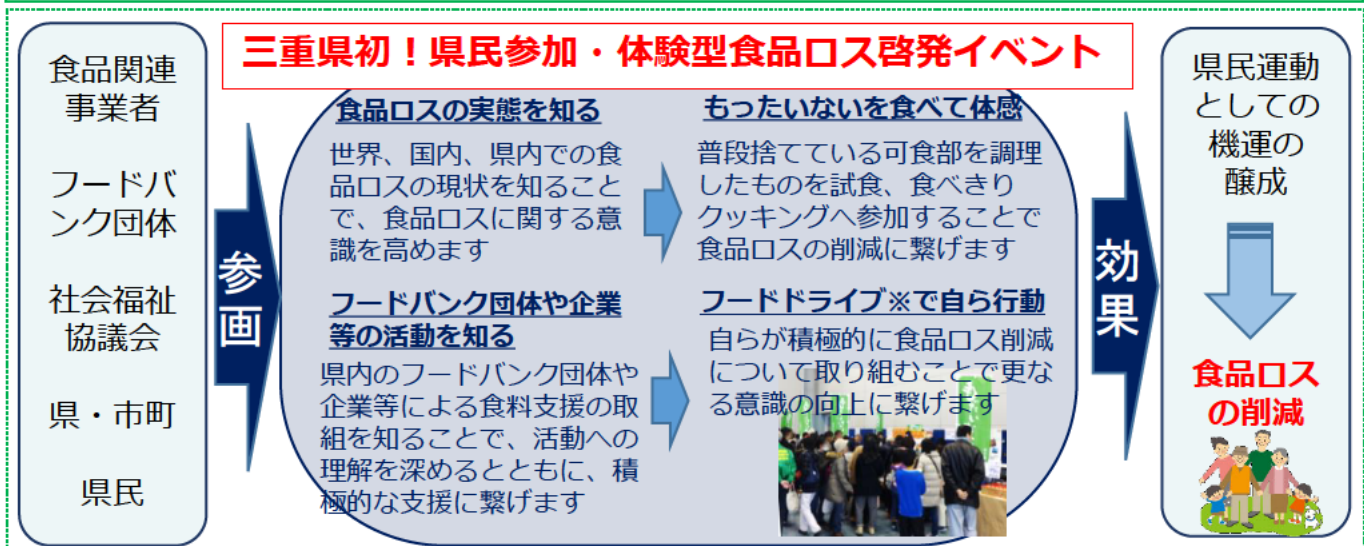
また、これらが実践できるよう、ペット参加型避難訓練等のイベントを実施します。

あわせて、避難所を設置する市町が、発災時にペットを連れた被災者を円滑に受け入れる準備についての周知に取り組みます。

県民参加・体験型食品ロス ゼロ啓発プロジェクト事業

736万円

食品ロス削減への関心を高めるため、食品関連事業者、フードバンク団体、社会福祉協議会、行政、県民など、さまざまな主体が参画する食品ロスをテーマにした県民参加・体験型イベント（食品ロスの削減、未利用食品の活用など）を、三重県として初めて開催し、県民運動としての機運を醸成することで食品ロスの削減に繋がります。



※家庭で余っている食品を持ち寄り、寄付する活動。

期待される効果

幅広い世代の集客を図り、参加者の食品ロスに関する意識を高めます。
また、さまざまな主体の連携を強化することで、さらなる食品ロス削減の取組の向上に繋がるとともに、県民運動としての機運の醸成を図ります。

取組内容

- 食品ロス削減月間である10月に、参加者5,000人規模の食品ロス削減をテーマにしたイベントを新たに開催します。
- イベントでは、食品関連事業者、フードバンク団体、社会福祉協議会、県、市町、県民などさまざまな主体が参加・体験型のブースを出展します。
- 具体的には、①食品ロスの実態を知るブース、②フードバンク団体や企業等の活動を知るブース、③食べきりクッキングのブース、④フードドライブのブースなど様々な角度から食品ロスについて考え・体験できるブースを設けます。
- 幅広い世代の集客を図るため、楽しく学べるクイズやゲームなどを用い、子どもから大人まで楽しめるイベントを企画します。

テーマ：13 LGBTをはじめ性の多様性について、県民の皆さんに広く知ってもらうための方策

性の多様性を知ろう！ みんなで虹色キャンペーン事業

979万円

LGBTをはじめ性の多様性を尊重する姿勢を表現するシンボルカラー虹色で、建物などをライトアップやペイントすることで、県民の皆さんに視覚的に「性の多様性」を知ってもらうとともに、啓発イベントを行うキャンペーンを実施します。

「性の多様性」を知ろう！みんなで虹色キャンペーン

レインボーカラー虹色は、性の多様性を尊重する姿勢を表すシンボルカラー



・賛同者一斉の虹色掲示

県内複数か所で実施予定

・施設の虹色ライトアップ
・階段・歩道等の虹色ペイント

・啓発イベントの開催
〈例〉映画上映、トークショー

カナダなど先進地で見られるレインボーの歩道を実現



(※) 歩道ペイントは、公道ではなく、県庁の敷地内や、許可を得た施設の敷地内において、期間中の実施を想定

期待される効果

歩道や階段、施設などがレインボーカラー(虹色)になり、容易に「目につくこと」で、LGBTや性の多様なあり方について、これまで関心のない、ほとんど知らない県民の皆さんが知るきっかけを作ることが出来ます。あわせて、性の多様性について知るイベントを実施することで、県民の皆さんの理解を広げます。

取組内容

- 県民の皆さんに視覚的に「性の多様性」を知ってもらう啓発キャンペーンを実施します。
- キャンペーン期間を設け、LGBTをはじめ性の多様性のシンボルカラーであるレインボーカラー(虹色 6色)で、県内施設のライトアップをしたり、階段や壁、駐車場の歩道の一部などをペイントします。普段と違う色になっていることで、関心を持ってもらい、県民の皆さんに「性の多様性」について、広く知ってもらう機会とします。レインボーカラー横断歩道の取組は、カナダなど世界的に広がってきています。
- キャンペーン期間中、賛同者には、レインボーカラーの掲示協力をお願いするなど、県内での広がりを図ります。期間中には、「性の多様性」に関して、例えば、映画上映やトークショーなどの啓発イベントも実施します。

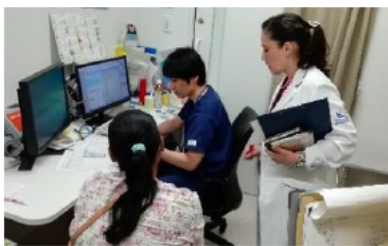
映画で知ろう！

980万円

「みえで活躍する外国人住民」事業

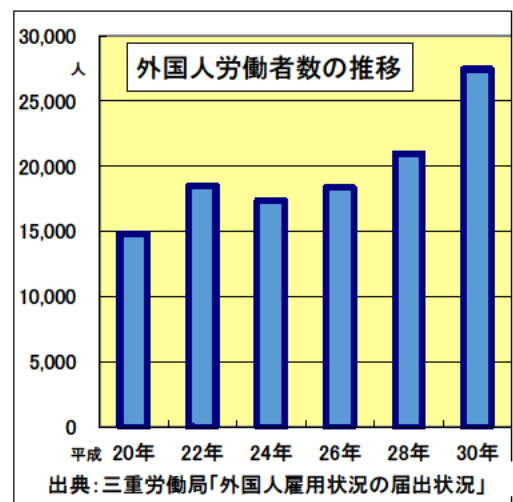
県内の様々な分野で活躍している外国人住民を紹介する**ドキュメンタリー映画**を制作し、多文化共生に関するシンポジウムで発表するとともに、市町や教育機関等で上映して、**多文化共生への理解促進**を図ります。

外国人住民が、県内の様々な分野で活躍しています。



例えば…

- 〇〇病院では、医療通訳をしています
- では、お弁当を作っています
- △△工場では、金型を設計しています



期待される効果

子どもたちにも分かりやすい映像を通して、県内で活躍する外国人住民の存在を知ることによって、「**多文化共生**」を考えるきっかけとなります。

取組内容

- 「多文化共生映像づくり」ワークショップ
日本人と外国につながる学生・社会人が共に参加するワークショップにおいて意見を交わし、企画案を作成します。
- 映画制作
企画案に基づき、ワークショップ参加者が中心となってドキュメンタリー映画を制作します。
- シンポジウムと上映会
制作に関わった参加者も出演するシンポジウムを開催し、県民対象の上映会を行います。その後は、市町や県内小中高等学校等で上映会を開催したり、SNS（YouTubeなど）を活用し作品を発信します。